

## 2 新庁舎の整備方針

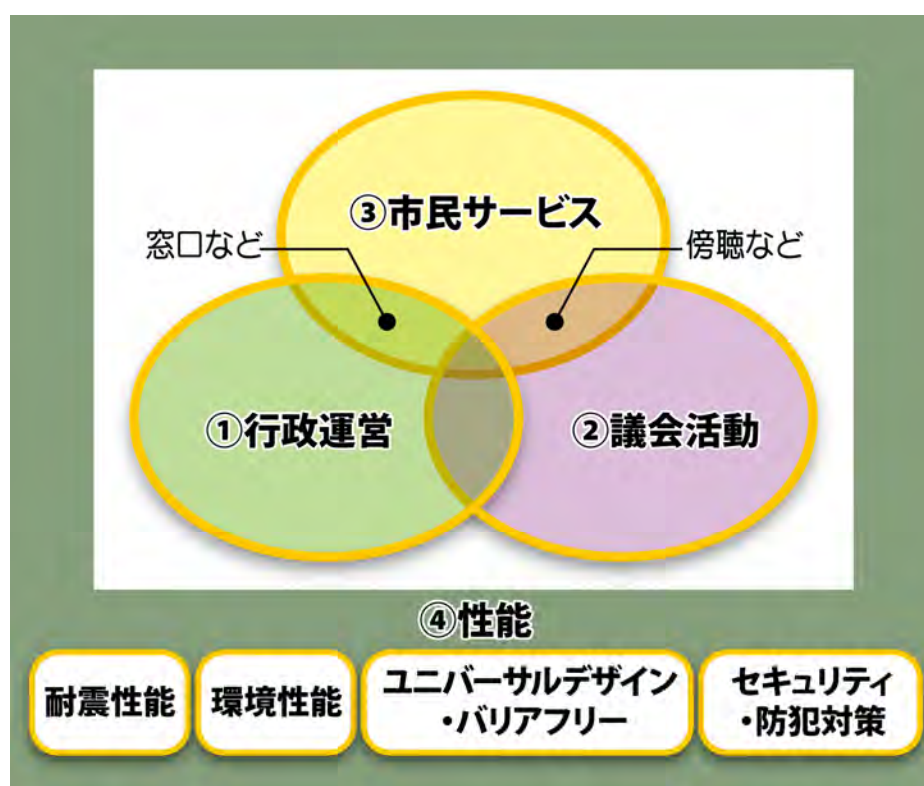
### 2-1 基本機能と性能の想定

#### (1) 基本機能と性能の概念的な関係

○庁舎は、基本機能である①行政運営に関わる機能、②議会活動に関わる機能、③市民サービスに関わる機能と、四つの性能をもって構成します。

○また、基本機能及び性能は、下図に示す概念的な関係とします。

基本機能と性能の概念的な関係



○基本機能を更に細区分した各機能を想定します。

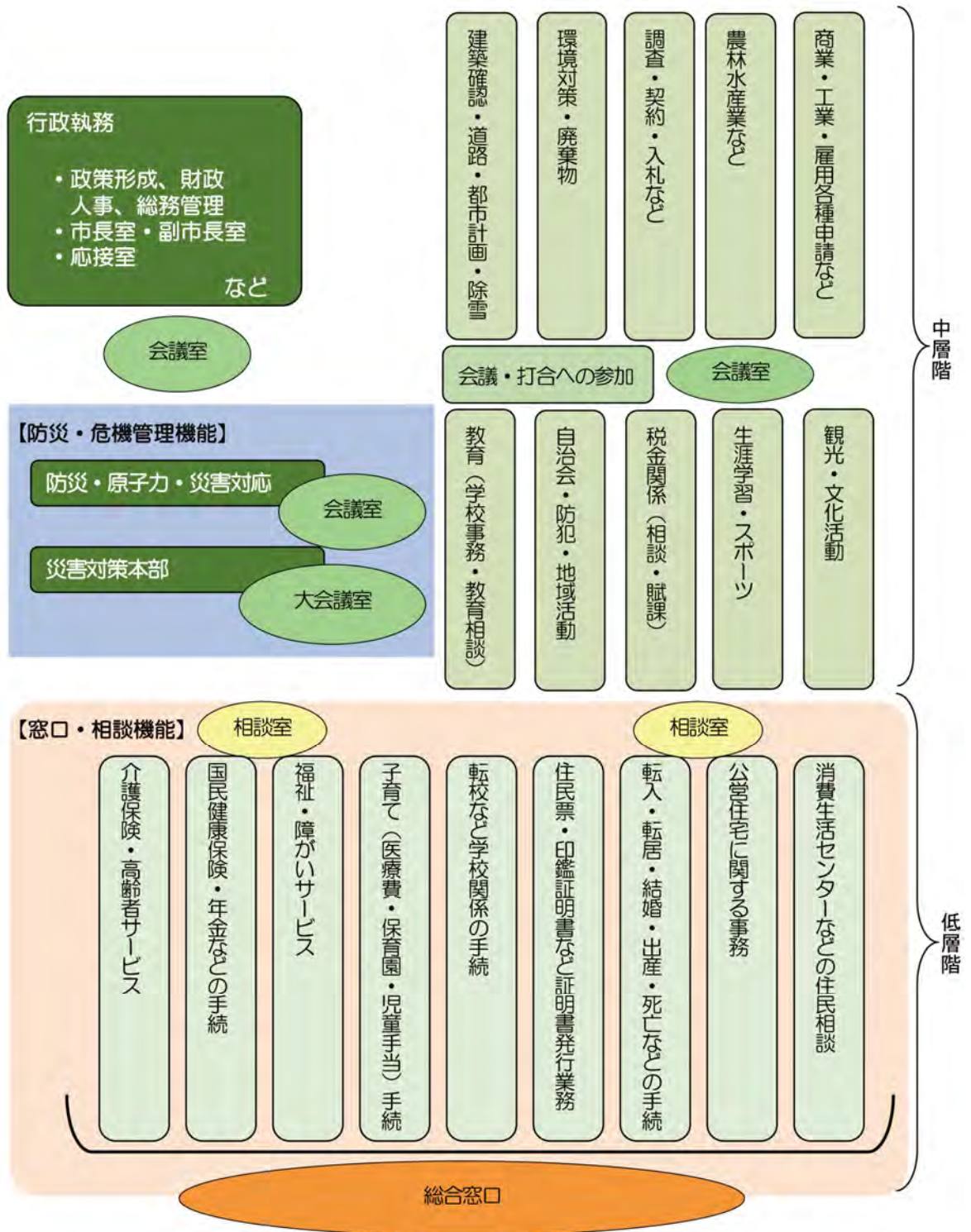
①行政運営に関わる機能	【行政運営・管理機能】 【防災・危機管理機能】 【案内機能】【窓口機能】【相談機能】	ほか
②議会活動に関わる機能	【議会機能】	ほか
③市民サービスに関わる機能	【利便性向上機能】【ふれあい交流機能】 【情報受発信機能】【交通機能】	ほか

(2) 行政運営に関わる機能の断面的空間イメージ

○行政運営に関わる機能について、断面的空間構成を示します。

○窓口・相談機能は、市民の利便性の向上を最優先に考え、低層階に配置することとします。

行政運営に関わる機能の断面的空間イメージ



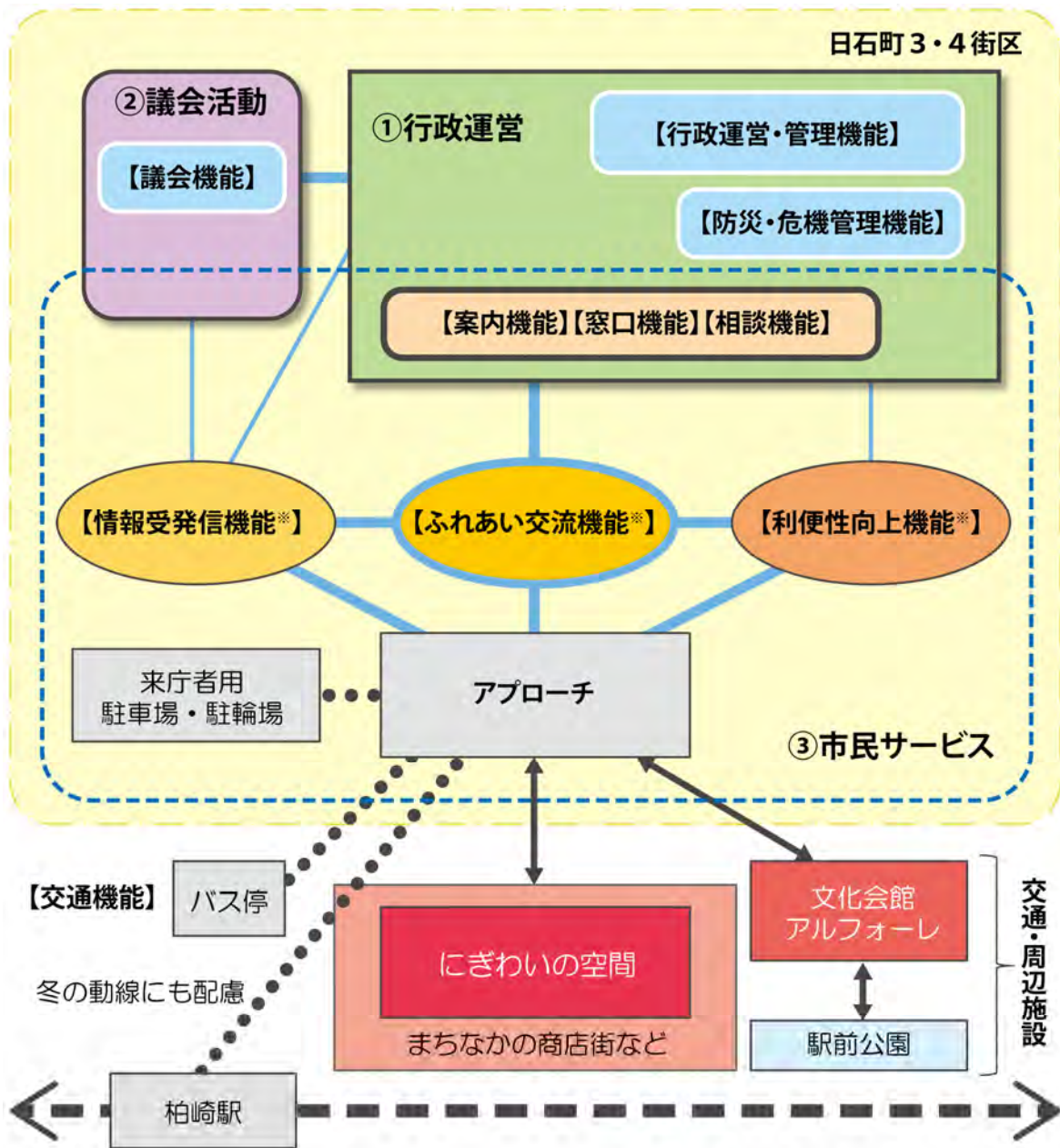
## (3) 市民サービスに関わる機能を中心とした各機能の相互関係イメージ

○庁舎は、日石町3・4街区（合計で約19,500㎡）への配置を基本とします。

○庁舎のアプローチ部分から行政運営に関わる機能である案内・窓口・相談機能に至る間に、人的・空間的なふれあい交流機能を配置するとともに、これと密接するよう、利便性向上機能と情報受発信機能を配置します。

○また、アプローチ部分の外（庁舎外）には、交通機能を配置します。

## 市民サービスに関わる機能を中心とした各機能の相互関係イメージ



※ふれあい交流機能とは、ラウンジ、イベントスペース、キッズルームなど

※利便性向上機能とは、カフェやくつろぎのできる場、コンビニ、ATMなど

※情報受発信機能とは、市政情報検索、議会のモニター中継、市民・企業の情報、観光情報など

## 2-2 基本機能の内容

### (1) 行政運営に関わる機能

- 行政運営に関わる機能は、効率的かつ将来の社会情勢や機構の変化に柔軟に対応できるように整備します。
- このうち案内・窓口・相談機能は、市民アンケートでの意見や要望を踏まえ、市民に分かりやすい構成にするとともに、低層階に配置することとします。なお、これ以外の機能は、中層階に配置することとします。

#### ①行政運営・管理機能

##### ～目指す姿～

執務室のレイアウトはオープン型を基調とされ、組織改編や職員数の変動に柔軟に対応できる備えとなっており、職員は効率的・効果的に業務を行っている。

建物の階層に応じて機能が一定程度区分されており、動線が明解で管理しやすい工夫が施されている。

- 行政事務を執行する基本的性能を備えるとともに、関連部署間の連携が容易であるなど、効率的な行政運営が可能となるよう整備します。
- 窓口対応部署を低層階に配置し、住民視点の総合的な窓口サービス（総合窓口）を実現します。このほかの部署や高いセキュリティ性能が必要な部署は、中層階に配置します。
- 総合窓口に関わる部署と、これ以外の窓口対応部署が円滑な動線で結ばれるよう検討します。
- ICT（情報通信機能）など技術革新に柔軟に対応ができるよう、設備とスペースについて検討します。
- 組織機構の変化に柔軟に対応できる執務空間とします。
- 会議室は、多様な規模や用途に対応できるように、可動間仕切りなどの導入について検討します。
- 窓口カウンターは、個人情報や行政情報の保護に留意したしつらえとします。
- 市民と職員、事業者と職員、職員同士などが容易に打合せできるスペースの配置について検討します。
- 市民参加型の協議が開催される場合に備え、高齢者や障がい者、乳幼児連れなどへの配慮について検討します。

## ②防災・危機管理機能

## ～目指す姿～

新潟県中越沖地震クラスの大震災が発生しても、被災状況を的確に把握し、地域の防災組織や関係機関と連携して、速やかに対応・対策がとれるなど、災害対応活動の拠点として即応できる環境が十分に整っている。また、様々な災害対応活動団体に支援できる環境がある。

- 庁舎は、防災拠点施設として必要な強度・構造を確保します。
- 原子力発電所の存在も含め災害時の司令塔として、十分なセキュリティを確保した情報収集機能、指令発信機能、情報発信機能を整備します。
- 災害対策本部会議室\*と災害対策室\*を設置します。防災・原子力課執務空間と同一フロアに配置することとし、相互連携を図ります。
- 災害時において県や警察、消防などの関係機関と連携できるよう、これらの機関の活動スペースの設置について検討します。
- 防災備蓄倉庫などの設置を検討します。
- 災害時には、文化会館アルフォーレ及び駅前公園が避難場所として活用されるため、被災者支援活動を円滑に行えるよう、動線を確保します。

## ③案内機能

## ～目指す姿～

来訪目的を確認し、的確な案内を行っており、例えば市民は、目的の窓口に迷うことなく訪問できている。また、初めて訪れた観光客や事業者も、目的とする地域情報コーナーや部署に迷うことなく訪問できている。

対面による案内が充実しており、高齢者に好評である。

- エントランスホールに来庁目的を確認し、案内する総合案内を配置します。また、来庁者が様々な用件について気軽に相談できる行政事務や、手続に精通したフロアマネージャー\*の設置について検討します。
- 手続名や業務名で表示された案内や、番号で表示された案内、視認性を重視した案内など、多言語に対応したサインシステムの整備について検討します。

## ④窓口機能

## ～目指す姿～

分かりやすく利用しやすい窓口サービスがあり、複数の手続でも短時間で終わっている。

また、総合窓口に対応したゆとりある待合スペースがあり、高齢者などに優しい環境となっている。

○転入・転出などの届出・申請関係だけでなく、住民票・税金などの証明書発行関係も一箇所で手続ができる総合窓口を導入します。

なお、マイナンバー制度\*が導入されたことから、証明書の発行などは近くのコンビニなどでも取得できるようになります。

○窓口対応部署は同一フロアへの配置を想定します。ただし、複数階に及ぶ場合は低層階に集約し、総合窓口との連携に機動性を持つことができるよう配慮します。

○総合窓口に対応した待合スペースを整備します。また、待合スペースに近接して、後述する利便性向上機能（コンビニやATM\*など）や、ふれあい交流機能（くつろげるスペース、市民伝言板など）、情報受発信機能（行政や地域団体情報など）を配置することで、市民の利便性を高めます。

## ⑤相談機能

## ～目指す姿～

市民の各種の相談に効率的に対応できているとともに、プライバシーや個人情報を守られ、安心して相談ができている。

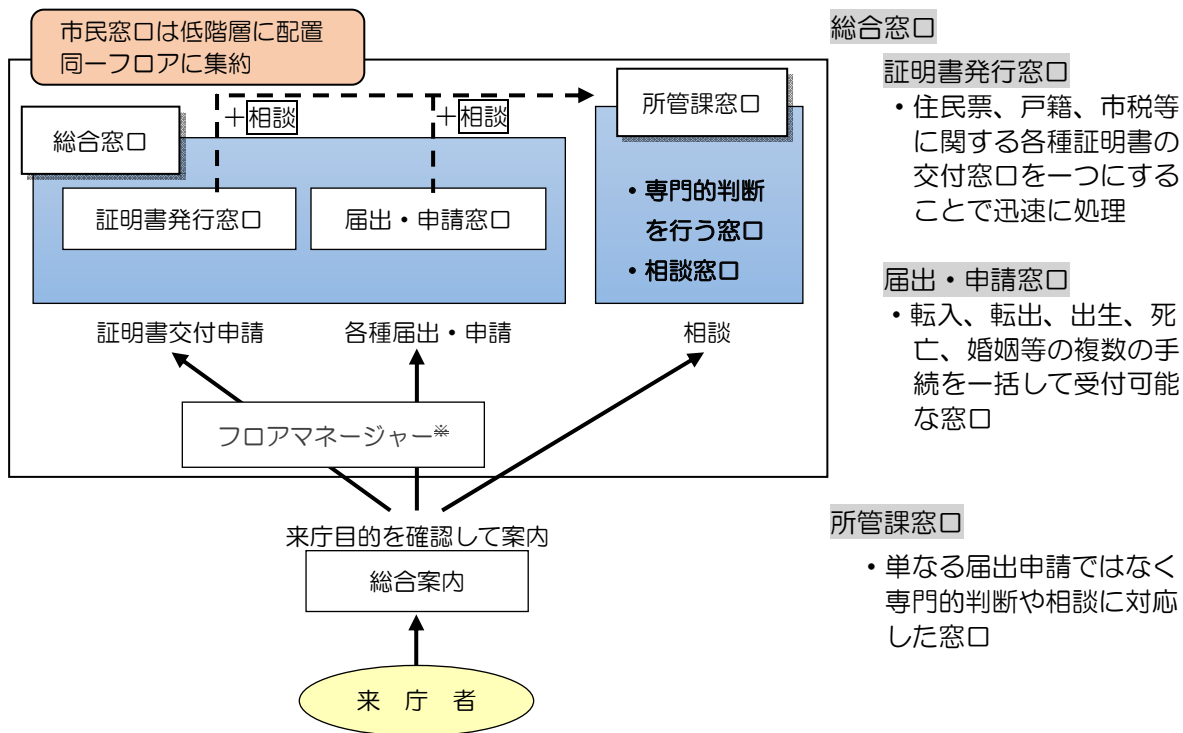
○市民からの相談のほか、企業による融資や経営の相談など、様々な相談業務に対応できるよう、プライバシーに配慮した市民サービスを提供します。

○低層階に市民応接室や相談室、消費生活センターを設置します。

○窓口カウンターは、プライバシーの保護に配慮したしつらえとします。

### 案内と窓口と相談機能のイメージ

- 迷わない、分かりやすい
  - 早く手続が終わる。
  - 安心して相談ができる。
- 総合窓口の整備と関係する担当課の同一フロアへの集約を目指し、その手法を検討する。



## (2) 議会活動に関わる機能

### ① 議会機能

#### ～目指す姿～

議会は、市民に開かれており、市民から親しまれる議会活動がなされている。

#### 【フロア等】

- 低層階への設置について検討します。
- 議場や委員会室など議会関連施設の配置は、独立性を検討します。

#### 【委員会室等】

- 委員会室は、柔軟な対応が可能であるとともに、必要な機能を検討します。

#### 【諸室及びその他】

- 議員控室は、可動間仕切りの採用など柔軟な運用ができるよう検討します。
- 図書室など必要な機能について検討をします。

### ② 情報提供機能

#### ～目指す姿～

議会情報は、広くかつ的確に発信されており、閲覧は分かりやすく、市民は容易にアクセスできている。

- 議会情報を市民に分かりやすく提供できる環境整備を検討します。



### (3) 市民サービスに関わる機能

- 市民サービスに関わる機能は、市民が気軽に利用できる魅力的な空間を目指し、市民アンケートで要望が多かった利便性向上機能やふれあい交流機能、情報受発信機能について示します。
- 証明書発行や届出・申請などにより庁舎を訪れた人以外にも、休憩や待ち合わせなど不特定の目的で訪れる人、あるいは情報を求めて来る人、業務や観光目的で柏崎に来訪する人など、様々な人への対応を考えることが必要です。
- このため、休憩や簡単な飲食や談話などができるくつろぎの場を中心にして、それと融合するように利便施設や情報発信の場を配置した空間の形成を目指します。また、窓口機能との連携も考慮します。

#### ①利便性向上機能

##### ～目指す姿～

様々な年代、障がいのある人、乳幼児連れなど、多様な来庁者がみられるが、彼らをサポートする利便施設が整っており、来庁目的がストレスなく果たされている。

- 多様な市民に対応するため、コンビニ又は売店、ATM<sup>※</sup>、多機能トイレ<sup>※</sup>、授乳室などの設置について検討します。
- 子どもと一緒に来庁された方の一時保育や、キッズスペースなどの設置について検討します。

## ②ふれあい交流機能

## ～目指す姿～

庁舎内には、窓口手続を目的とする人以外に、休憩や待ち合わせなど直接市役所での手続・相談を目的としない人、情報入手を目的とする人、業務や観光を目的とする人など、様々な目的を持った人が多くみられるが、誰もがくつろげ気軽に利用できる空間や施設があり、そこには、楽しさに満ちあふれた相互交流が生まれている。

## 【庁舎（建物）内】

- 誰もが利用しやすいふれあいの空間を創出することとし、カフェなど飲食しながらくつろげるコーナーや、市民伝言板、ミニ図書館、植樹などの設置について検討します。
- 市民と行政が交流できる空間を創出することとし、イベントの開催が可能なフリースペースなどの設置について検討します。期日前投票所としての活用も視野に入れます。

## 【庁舎（建物）外の敷地など】

- 市民広場や遊歩道の整備について検討します。なお、市民広場には、飲食しながらくつろげるスペースの設置も検討します。
- 庁舎内に設置するフリースペースと一体として使用可能な屋外オープンスペースの整備について検討します。

## 【運営について】

- 上記で検討することとした各施設や設備等の一部については、市民・事業者・行政の協働による運営が行われるよう、制度的な仕組みについて検討します。

## 【既存の交流施設との整合について】

- 市民交流機能を有する公共施設は、文化会館アルフォーレ、産業文化会館、市民プラザ、ソフィアセンター、市民活動センターまちからなどの施設がありますが、利用目的や施設の位置関係から競合しないと想定します。

### ③情報受発信機能

#### ～目指す姿～

市民が必要とする行政や議会情報が的確に提供されている。

柏崎の自然・文化・歴史、市民・地域や各種団体の活動の情報などが総合的に情報発信されている。これらの情報は、行政だけでなく、市民や団体、企業からも多くもたらされており、このための情報受信（入手）機能が整っている。

また、柏崎を初めて訪れた人が手軽に柏崎の各種情報を入手できており、そこには、柏崎市のシティセールス<sup>※</sup>戦略として、まち全体の案内や観光・地域情報が豊富にアーカイブ<sup>※</sup>されている。

- 市政情報を集約的に提供する空間を創出することとし、行政運営や議会活動情報を総合的に提供するスペースなどについても検討します。
- 市民・地域などの情報発信空間を創出することとし、市民・地域や各種団体などに関わる各種情報を発信できるスペースや、シティセールスも視野に入れたまちの情報発信スペースなどの設置について検討します。
- 情報の媒体としては、基本は紙やホワイトボードなどのアナログ形式としますが、デジタルサイネージ<sup>※</sup>、無線LAN<sup>※</sup>やWi-Fi フリースポット<sup>※</sup>などの設置や整備についても検討します。

## ④交通機能

## ～目指す姿～

庁舎周辺には、安全に移動できる連続した歩行空間があり、高齢者も含め多くの方が、駅や商店街、庁舎、文化会館アルフォーレ、駅前公園などへ快適に歩いて用事を済ませている。

なお、庁舎と駅を結ぶ歩行者動線は、雪・風対策が施されていることもあり、一年を通じて利用の変化が余り見られない。

庁舎に自動車で来る人は、駐車場案内表示に従って駐車場入口に向かっており、歩行者との交錯があまり見られない。

○歩行者の動線と自動車等の動線が交錯しないよう検討します。

## 【歩行者】

○まちなかの活性化にもつながる、バリアフリー\*に配慮した歩行者の快適な動線確保について検討します。

○公共交通機関、周辺施設や商店街などとのアクセス確保について検討します。また、庁舎と柏崎駅やバス停を結ぶ動線や、庁舎と来庁者用駐車場を結ぶ動線については、雪や風対策について検討します。

○レンタサイクルや車椅子の貸出システムなどについて検討します。

## 【自動車／駐車場】

○庁舎にアクセスする自動車は、歩行者動線とできるだけ交錯しない動線を確保します。また、出入口も同様に確保するとともに、駐車場は、庁舎に接するよう配置します。

## 【バス停留所】

○バス停留所は、庁舎に接するよう、設置について検討します。

## 2-3 性能の内容

○耐震性能、環境性能、ユニバーサルデザイン\*・バリアフリー\*、セキュリティ・防犯対策について示します。

### (1) 耐震性能

○庁舎は、下表に示すとおり国の「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準」において、「構造体：Ⅰ類」、「非構造部材：A類」、「建築設備：甲類」を確保するものとします。

官庁施設の総合耐震・対津波計画基準概要（官庁施設の耐震安全性）

部位	分類耐震	安全性の目標
構造体	Ⅰ類	大地震動後、構造体の補修をすることなく建築物を使用できることを目標とし、人命の安全確保に加えて十分な機能確保が図られるものとする。
	Ⅱ類	大地震動後、構造体の大きな補修をすることなく建築物を使用できることを目標とし、人命の安全確保に加えて機能確保が図られるものとする。
	Ⅲ類	大地震動により構造体の部分的な損傷は生じるが、建築物全体の耐力の低下は著しくないことを目標とし、人命の安全確保が図られるものとする。
非構造部材	A類	大地震動後、災害応急対策活動等を円滑に行う上、又は危険物の管理の上で支障となる建築非構造部材の損傷、移動等が発生しないことを目標とし、人命の安全確保に加えて十分な機能確保が図られるものとする。
	B類	大地震動により建築非構造部材の損傷、移動等が発生する場合でも、人命の安全確保と二次災害の防止が図られていることを目標とする。
建築設備	甲類	大地震動後の人命の安全確保及び二次災害の防止が図られているとともに、大きな補修をすることなく、必要な設備機能を相当期間継続できることを目標とする。
	乙類	大地震動後の人命の安全確保及び二次災害の防止が図られていることを目標とする。

出典：官庁施設の総合耐震・対津波計画基準、第2編官庁施設の耐震化から抜粋（国土交通省HP）

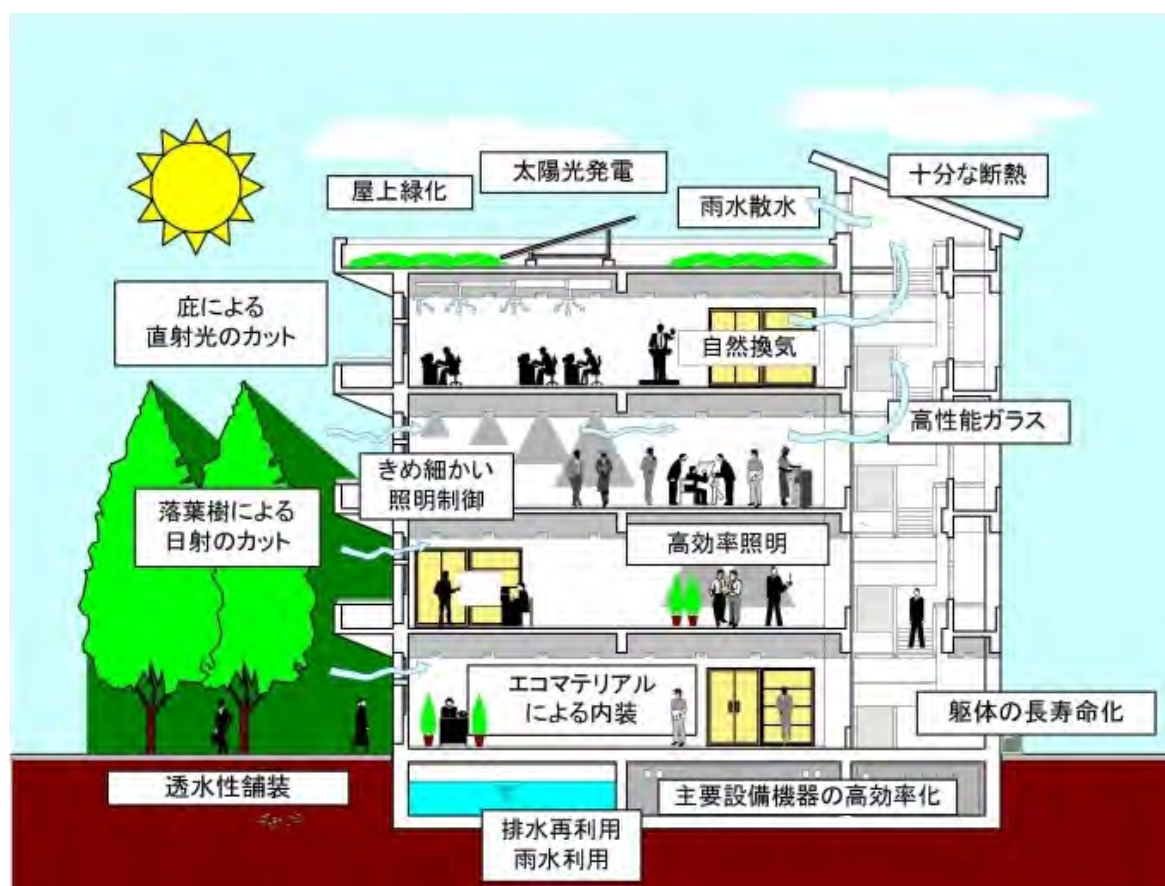
○庁舎は、防災や災害時の対応拠点となることから、大地震に際しても建物の安全性が保持され、災害対策本部等の機能が即応できるような体制にしておく必要があります。

このため、地震発生時において、建物や設備に対する損傷を大幅に抑えることのできる免震構造\*を基本とした構造を想定します。

## (2) 環境性能

- 柏崎市環境基本条例、柏崎市環境基本計画、柏崎市地球温暖化対策実行計画を踏まえ、自然採光や自然換気、太陽光発電などの自然エネルギー\*の利用など、省エネルギー\*と省資源に配慮した環境に優しい庁舎を目指します。
- 環境性能については、建築環境総合性能評価システム（CASBEE）\*における上位ランクの評価を得ることを目指します。
- 環境負荷を軽減し、ライフサイクルコスト\*の低減に向けた検討を行います。
- 具体的な検討項目は、次のとおりです。
  - － 施設の長寿命化\*
  - － 負荷の低減
  - － 自然エネルギーの利用
  - － 設備システムの高効率化

### 地球環境の保全に配慮した庁舎の一般的なイメージ



出典：国土交通省 グリーン庁舎イメージ図

### (3) ユニバーサルデザイン※・バリアフリー※

※：ユニバーサルデザイン・バリアフリーの関係法令としては、「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」、「新潟県福祉のまちづくり条例」があります。

- 年齢、性別にかかわらず、障がい者や日本語に不慣れな方など全ての人が安全に利用できるユニバーサルデザインに配慮した庁舎とします。
- 国土交通省の「官庁施設のユニバーサルデザインに関する基準」に適合するよう整備します。
- 具体的な検討項目は、次のとおりです。
  - － 誰もが安全に利用できる庁舎
  - － 分かりやすいサイン
  - － 窓口におけるコミュニケーションの重視
  - － 新庁舎周辺の整備

### (4) セキュリティ・防犯対策

- 来庁者と職員の安全管理と情報管理に配慮したセキュリティ対策を講じます。
- 具体的な検討項目は、次のとおりです。
  - － 入退室管理
  - － 防犯対策
  - － 動線の分離
  - － 情報管理機能
  - － ゾーン区分（入室制限）

## 2-4 庁舎規模の想定

### (1) 庁舎規模の想定

- 庁舎建設に当たっての面積算定基準には、国土交通省新営一般庁舎面積算定基準と総務省起債許可標準面積算定基準がありますが、国土交通省基準は国の庁舎建設の基準を示したものであり、総務省基準は平成23年度に廃止されています。
- このため、本基本計画では、国土交通省基準を基本としつつ、総務省の旧基準と他市事例を参考とした結果、車庫を除く庁舎延床面積を14,000㎡程度と想定します。

#### 各種算定基準に基づく庁舎規模の比較

(車庫を除く。)

算定基準等	延床面積	職員1人あたり面積
①国土交通省新営一般庁舎面積算定基準	13,990㎡	26.4㎡
②総務省起債許可標準面積算定基準 (平成23年度に廃止)	14,206㎡	26.8㎡
③他市事例	16,271㎡	30.7㎡
現庁舎	10,884㎡	20.5㎡

注：職員数は、530人を想定する（平成27年4月1日現在の職員数は、564人）。

注：議員は、26人とする。

注：他市とは、平成21年以降に庁舎建設計画がある、新発田市・燕市ほか14市の平均である。



## (2) 庁舎における各機能の施設内容の想定

○庁舎に配置する各機能の施設の内容について想定します。

## 庁舎における各機能の施設内容の想定

(車庫を除く。)

区 分		想定する施設内容	
行政運営	①行政運営・管理機能		
	事務室など	職員数 530 人	
	会議室	大会議室、中会議室、PC 研修室 打合せスペース	
	保管室	保存文書庫、函面保管庫 各所管の倉庫、紙資源保管庫など	
	福利厚生施設	休憩室、更衣室、シャワー室	
	②防災・危機管理機能		
	災害対策本部会議室※、情報連絡室 防災行政無線室、仮眠室		
	①と②の小計		(想定される面積 5,700~6,800 m <sup>2</sup> )
	③案内機能		玄関、受付、廊下等
	④窓口機能		上記の廊下に含まれる
⑤相談機能		市民応接室、1 階相談室、2 階相談室	
そのほか附属施設など		電話交換室、倉庫、宿直室、庁務員室 湯沸室、トイレ、職員厚生施設(更衣室・休憩室など) 印刷室、配付室、入札・図書閲覧室 新聞記者室、清掃員等控室 消費生活センター、職員組合事務所	
		(想定される面積 11,500~12,000 m <sup>2</sup> )	
議会活動	議員数 26 人 議場、委員会室、会派室、図書室 議長・副議長室、応接室 議会傍聴ロビー、議会事務局		
	(想定される面積 800~900 m <sup>2</sup> )		
市民サービス	①利便性向上機能		
	市民交流スペース 市民情報スペース		
	②ふれあい交流機能		
	キッズスペース、授乳室 多機能トイレ*		
③情報発信機能		コンビニ又は売店、ATM* など	
		(想定される面積 300~700 m <sup>2</sup> )	
設備	設備関係		
	機械室、電気室、自家発電機室		
		(想定される面積 900~1,000 m <sup>2</sup> )	

### (3) 庁用車用車庫面積の想定

- 庁用車のための車庫面積は、現在の車庫数・車両数・運転手数を基準に、  
約1,600㎡と想定します。

#### 庁用車用車庫の設定

区分	面積	想定する施設内容
車庫	約1,600㎡	バス、マイクロバス、普通車、バイク、自転車、運転手控室

### (4) 来庁者用駐車場台数の想定 (資料編8ページ参照)

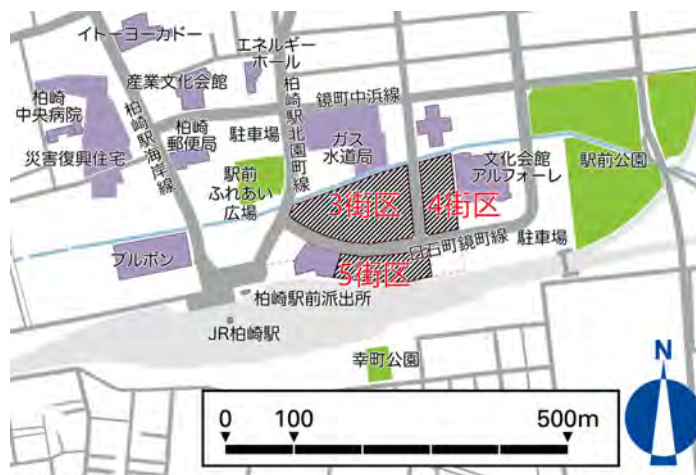
- 来庁者用駐車場の台数は、県内を中心とする22都市の整備台数を参考に、現在の台数を確保することとし、210台を想定します。

### (5) 職員用駐車場の確保 (資料編9ページ参照)

- 交通結節点である駅周辺であることから、職員の公共交通機関の利用を一層促すこととします。
- ガス水道局舎と隣接することから、一体的な整備を検討します。
- 以上を踏まえ、職員用駐車場の確保を検討します。

## 2-5 主要な施設の配置

- 新庁舎の建設場所は、日石町3街区（約14,200㎡）と4街区（約5,300㎡）を基本とします。



### (1) 庁舎と来庁者用駐車場の配置

- 自動車での来庁者の利便性を考慮し、駐車場は、新庁舎に接して確保する必要があります。このため、庁舎及び来庁者用駐車場は、敷地が広い3街区に配置することとします。

### (2) 庁用車用車庫の配置

- 庁用車用車庫の敷地面積は約1,600㎡であり、多くの面積を必要としないことから、3街区又は4街区のいずれの配置も考えられます。あわせて、隣接するガス水道局のガス事業について民営化が予定されていることから、ガス水道局の車庫の利用も含めて検討する必要があります。
- なお、庁用車用車庫の活用として、階上などへの防災備蓄倉庫の設置について検討します。

### (3) 職員用駐車場の配置

- 職員用駐車場確保については、4街区を想定しますが、全てを配置することは困難であるため、周辺での配置及び公共交通機関への利用転換誘導について検討します。

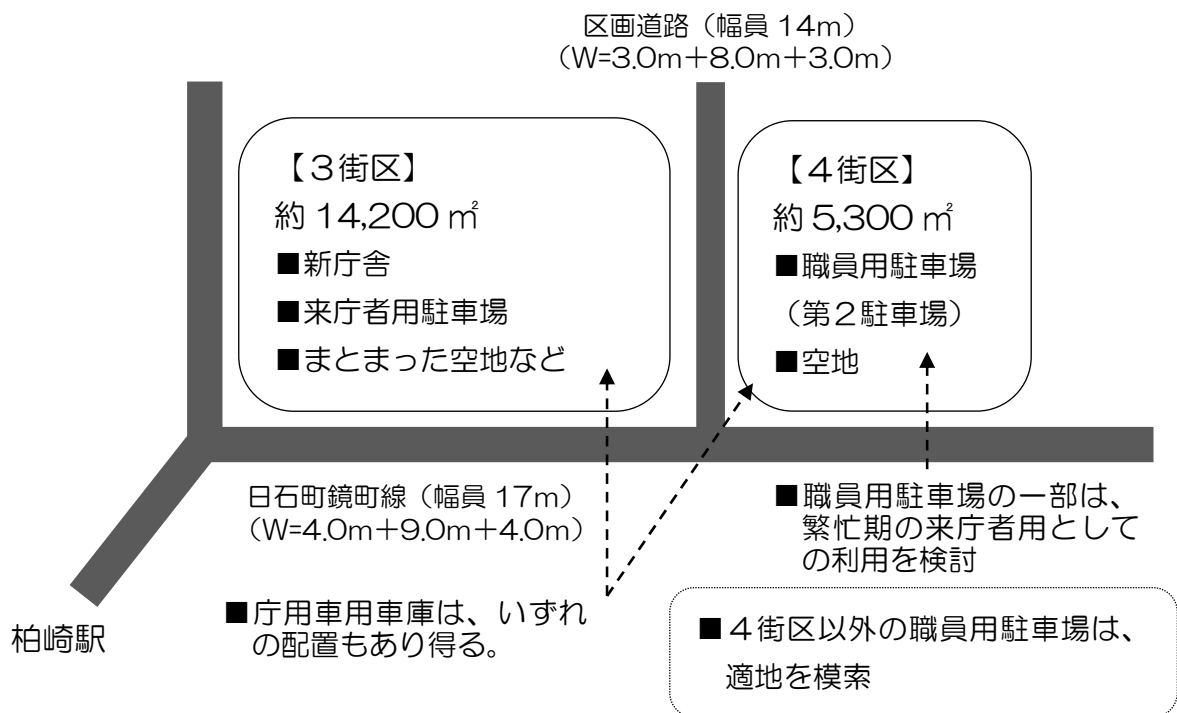
### (4) 駐車場の効率的な活用

- 来庁者用駐車場及び職員駐車場については、文化会館アルフォーレの駐車場との連携強化を図ることで、駐車場の効率的活用が高まる可能性があります。このため、新庁舎の設計段階において、これらの駐車場の運用について検討します。

## (5) 敷地内の空地

- 3街区、4街区ともに、敷地内に空地を確保することを想定します。ふれあい交流機能としての広場や、環境性能（ヒートアイランド現象\*の予防）を高める緑地などが考えられます。
- 文化会館アルフォーレや駅前公園との連携にも配慮し、市民広場や緑地、樹木・木陰、花壇、駐車場内植樹帯、遊歩道、ベンチ、バス停などの配置について検討します。

### 主要な施設の配置



## (6) 歩行者動線と自動車動線

- 歩行者動線は、柏崎駅と商店街を結ぶ軸を重視し、柏崎駅北園町線と日石町鏡町線を経由する軸を想定します。
- 自動車動線は、歩行者動線と交錯しないよう、3街区と4街区の間の区画道路からそれぞれの駐車場に入出庫する軸について検討します。また、庁舎周辺の街区においては、駐車場の案内表示の設置について検討します。

歩行者動線、自動車動線の想定

